

生産性向上支援訓練カリキュラム

| | |
|--------------------|---------------------------|
| B. 組織マネジメント | ムリ・ムダ・ムラを洗い出し、生産性向上を高めよう！ |
| 組織力強化 | 成果を上げる業務改善 |

| | |
|----------------|--|
| コースのねらい | 生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。 |
|----------------|--|

| | |
|-----------|---|
| 対象 | (中堅層向け) ・業務上の問題点(ムリ・ムダ・ムラ)を把握したい方 ・業務改善に取り組みたい方 |
|-----------|---|

| | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) | |
|------|--------|--|--|-----|
| 講義内容 | 1 | 業務改善と業務の可視化 | (1)何故、業務改善が必要なのか 製造業を取り巻く環境について説明を行い、業務改善の必要性を認識してもらうことで、改善活動に対する動機づけを行うとともに、メンバーを巻き込むためのポイントをお伝えする (2)問題発見のための業務の可視化【演習あり】 業務の可視化によりムダや問題の発見方法について解説する 着眼点として「EGRS法」による演習を行う 「業務の目的は何？」というポイントに着目し、業務の平準化や問題解決につなげる考え方を理解させる (3)業務における「ムダと価値」を知る ムダを探すため、自分たちの部門における価値業務とは何かを考えさせる また改善すべきムダ発見のための具体的な方法、日常業務に潜在化した問題発見の進め方について解説する | 3.0 |
| | 2 | 業務改善手法 | (1)改善活動のストーリー 改善活動を効果的に実施するための問題解決型活動のストーリーを説明し、テーマ選定～歯止めまでの各ステップを効率的に進めるためのポイントについて説明する (2)チームを動かすマネジメント【演習あり】 業務改善の推進に不可欠なチームワーク、組織の力を引き出す行動力について解説し、コミュニケーションについての演習を行う実践を踏まえて理解を深めたい (3)明日からの改善について【演習あり】 他社の事例も含め、改善に活用できる手法について紹介をする 自部署の改善すべき問題を抽出し、改善活動のストーリーを作成する さらに、グループ討議を通じて、その内容に潜む「これまでの当たり前」からの脱却を図る | 3.0 |
| | 演習 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常業務の可視化演習 個人業務の可視化を通じて、ムダ削減や生産性向上の方向性を検討する ・コミュニケーション演習 コミュニケーション不足を解消し、情報共有化や報告・連絡・相談を強化するポイントを体得する ・改善ストーリーの作成 訓練で学んだ内容を踏まえて、より実践的な改善行動計画を設定する また、グループ討議で相互チェックを行うことで、違う視点を注入し、より効果的な改善計画とする | 基本項目に含む | |
| 合計時間 | | | 6.0 | |

| |
|---|
| カリキュラム作成のポイント |
| <p>基本的な知識を一方通行で学ぶだけではなく、演習の通じて、自職場の事例に当てはめて考えてみることで理解を深め、「知っている、理解している」から「やれそうだ、できそうだ」と感じることができるためのカリキュラムとします。</p> <p>また、様々な業種の顧客との活動を通じて得られたコンサルタントとして知識や経験を、できるだけ具体的な事例を用いて分かりやすくお伝えしていきます。</p> |

| |
|-----------|
| 備考 |
| |